ハムストリング起始部皮下断裂の1例

公立みつぎ総合病院整形外科

野崎 義宏・末 廣 昌 嗣

馬場 洋・川原 俊 夫

同リハビリテーション科

林 拓 男・宮 畑 育 子

Rupture of the Ischial Origin of the Hamstring Muscles

Yoshihiro Nozaki, Masatsugu Suehiro, Hiroshi Baba,
and Toshio Kawahara

Department of Orthopaedic Surgery, Mitsugi Public General Hospital

Takuo Hayashi, and Ikuko Miyahata

Department of Rehabilitation Medicine, Mitsugi Public General Hospital

There are few reports on the rupture of the ischial origin of the hamstring muscles among the rupture of all muscles. We report a case of rupture of the ischial origin of the hamstring muscles. A 48-year-old male complaining chiefly of pain in the posterior part of his right thigh after slipping on rollers while carrying something. He fell with his right knee extended and his right hip flexed in excessive flexion. He felt pain around the posterior part of his right thigh, and could not stand up and walk. We recognized recess at the distal part of the ischial tuberosity and a bulge at the posterior center part of the thigh. MRI (T2☆) imaging showed a low signal area that was assumed to be the avulsive part. 3 days after injury, we performed surgery with reattachment of the avulsive muscles to the ischium. 9 months after surgery, he returned to his job.

Key words : avulsion of hamstrings (ハムストリング断裂), ischial origin (坐骨起始部), surgical repair (観血的修復術)

はじめに

今回我々は、筋断裂の中でも比較的稀なハムストリング起始部皮下断裂の1症例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

患者：48歳，男性

主訴：右大腿部痛

現病歴：工作中，両手に荷物を持って運んでいる時に誤ってローラーの上を滑り，右膝関節伸展位で股関節屈曲位になりながら転倒した（図1）。直後から右坐骨から大腿部後面にかけての疼痛出現し，歩行困難となった。近医を受診しハムストリングの断裂を指摘され，観血的治療目的で当院に紹介された。

家族歴，既往歴：特記事項はない。

初診時所見：坐骨結節遠位部に皮下出血を認め，同部位に陥凹を触れた。更に大腿後面中央部に筋退縮による膨隆を認めた。膝窩部内側ハムストリングの筋緊張低下を認め，膝関節屈筋力もMMT3に低下していた。単純X線では坐骨結節の剥離骨片等の所見は認めなかった（図2）。以上の所見からハムストリング

図1 受傷機転

図3 術中所見
矢印(←): 起始部断端

図2 X線所見(術前)

起始部皮下断裂が疑われ受傷3日後に腰椎麻酔下に腱縫合術を行った。

手術所見：ハムストリング起始部より遠位に約12 cmの皮切を加え断端部を露出した。坐骨結節から5 cm遠位に、剥離し退縮した三筋共同起始部を認めた(図3)。また、坐骨付着部には遺残腱組織はなく完全に剥離していた。断端及び坐骨起始部を新鮮化後、2個の螺子を用いて縫着した。術後のX線所見で、縫着部の螺子が確認される(図4)。

術後経過：膝関節90度屈曲位でギブスシーネ固定

図4 X線所見(術後)

を術後4週間施行し、二本松葉杖歩行時はシュナイダーバンドを装着した。4週以後は荷重歩行を許可した。術後1年時、股関節、膝関節の可動域及び筋力は正常で、日常生活動作は特に支障なく職場復帰している。術後9ヶ月目のMRIで矢印に示されるハムストリング起始部の坐骨結節への縫着が確認された(図5)。

図5 MRI (術後9ヶ月)

表1 ハムストリング起始部皮下断裂本邦報告例(15症例)

平均年齢	37.9歳(18~67歳)
断裂筋	3筋断裂 9例 2筋断裂 3例(ST+SM 2例, ST+BFL 1例) 単筋断裂 2例(ST 1例, SM 1例) 不明例が1症例
治療法	観血的治療 14例 保存的治療 1例

考 察

過去のハムストリング起始部皮下断裂の本邦報告例は、我々が渉猟した限りでは15症例であった²⁻⁶⁾⁸⁾⁹⁾(図1)。Anzelら¹⁾は、1014例の筋腱断裂例を報告したが、その中でハムストリング起始部断裂は約0.3%であると述べている。本邦報告例は全例男性で受傷年齢は18歳から67歳平均37.9歳であった。受傷原因は、バイク転倒、柔道などのスポーツと様々であるが共通しているのは膝関節伸展位で股関節屈曲を強制されたという点である。断裂筋は三筋断裂が9例で最も

多かった。治療法は観血的治療が14例でいずれも良好な結果であったが、保存的治療を行った1例は筋力低下、全力疾走、跳躍困難が残存していた。Sallayら⁷⁾は、保存的治療を行った12例中5例でrunningやスポーツ参加に支障を認め、そのうち2例に修復術を行ったと報告した。以上のことから、ハムストリング起始部断裂は早期の観血的治療が望ましいと考えられる。

ま と め

筋断裂の中でも比較的稀なハムストリング起始部皮下断裂の1症例を経験し、観血的治療により良好な結果を得た。

参 考 文 献

- 1) Anzel, S.H. et al.: Disruption of muscle and tendons; an analysis of 1014 cases. *Surgery*, 406-414, 1959.
- 2) 伊達 徹ほか: ハムストリングの起始部皮下断裂の2例. *臨床整形外科*, 19: 1031-1033, 1984.
- 3) 福島 考ほか: ハムストリングの起始部皮下断裂の1例. *中部整災誌*, 29: 1336, 1986.

- 4) 堀口康伸ほか：後大腿神経炎を伴ったハムストリング起始部皮下断裂の1例. 整形外科, 47 : 894-895, 1996.
 - 5) 加東 武ほか：介達力によるハムストリング三筋断裂の一症例. 中部整災誌, 28 : 912-914, 1985.
 - 6) 益子秀久, 平山健一, 橋本 靖：ハムストリング起始部皮下断裂の2例. 整形外科, 43 : 1743-1746, 1992.
 - 7) Sallay, P.I. et al.: Hamstring muscle injuries among water skiers. The American Journal of Sports Medicine, 24 : 130-136, 1996.
 - 8) 塚西茂昭, 廣畑和志：介達力による半膜様筋断裂の1症例. 災害医 : 313-315, 1975.
 - 9) 山口高史ほか：ハムストリング起始部皮下断裂の3例. 中部整災誌, 38 : 1093-1094, 1995.
- ~~~~~